



平成28年5月2日号 (No.163)

「 学ぶはまねる 」

伊丹市立総合教育センター

所長 後藤 猛虎

子どもたちとの出会いから1ヶ月が過ぎようとしています。子どもたちと信頼関係を築くことがとても大事な時期です。焦らずにしっかりと子どもと向き合って傾聴し、敏感に子どもの気持ちを感じ取ってほしいものです。



2012年に出された、教員の資質向上に関する中央教育審議会答申のキーワードは、「学び続ける教員像の確立」です。つまり、教員には、学び続ける存在であることが求められています。

さて、「学ぶ」は、習うや学問する以外に、「まねぶ」から「まねる」があります。私たちは、人のまねをして、知識や技術、態度などを身に付け成長することがあります。また、芸術家や職人の間では、学ぶために技を盗むこともあります。学ぶことはまねること、盗むことから始まると言われます。それを上手に生かし成功している人がいます。

それは、経営コンサルタントの下川 浩二さんです。彼は、まねをすることを「パクる」と表現し、著書、「人生はマネしてトクして楽しもう」の中で、人生を楽しみながら、自分が成長する学び方を次の三段階で紹介しています。

はじめは、TTP。これは、「徹底的にパクる」の略です。まず、自分が身に付けたいと思っているものがあるとき、手本になるものや人を見つけて、そのものや人の言動を徹底的にまねる。

次は、TKP。これは「ちょっと変えてパクる」の略です。まねることが出来るようになったら、今度はまねる時に少し自分なりに工夫を入れてみる。

最後は、OKP。これは、「思いっきり変えてパクる」の略です。自分のやり方や工夫を十分に取り入れます。そのため、まねの原型をとどめておらず、その人独自のものになっている。

つまり、まずまねをして、次に自分のオリジナルを混ぜて、最後に、新しいものをつくっていくということです。

この三段活用は、授業力を高める時の学び方にも通じるものがあるように思います。教師は学び続け、成長しなければなりません。学び続けるためには、どんな学び方をするか鍵になります。TTP、TKP、OKPの三段活用を利用して、自分を進化させてみてはいかがでしょうか。

キャリア教育～未来を担う子どもを育てる～

変化する社会の中で、子どもたちが希望を持って自立的に自分の未来を切り拓いて生きていくためには、**変化をおそれず、変化に対応していく力と態度**を育てることが不可欠です。そのためには、日々の学習活動を通して、学ぶ楽しさや学びへの挑戦の意味を体得させ、生涯にわたって学び続ける意欲を維持する基盤を作ることが大切です。今、子どもたちが**生きる力を身に付け、社会の変化に流されることなく、さまざまな課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していく力を育む「キャリア教育」**が求められています。

キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

キャリア教育のイメージ

社会的自立・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力の育成

高等学校

現実的探索・試行と社会的移行準備

高等学校におけるキャリア教育の目標
 ○自己理解の深化と自己受容
 ○選択基準としての職業観・勤労観の確立
 ○将来設計の立案と社会的移行の準備
 ○進路の現実吟味と試行的参加

中学校

現実的探索と暫定的選択

中学校におけるキャリア教育の目標
 ○肯定的自己理解と自己有用感の獲得
 ○興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成
 ○進路計画の立案と暫定的選択
 ○生き方や進路に関する現実的探索

小学校

進路の探索・選択にかかる基盤形成

小学校におけるキャリア教育の目標
 ○自己及び他者への積極的関心の形成・発展
 ○身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
 ○夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得
 ○勤労を重んじ、目標に向かって努力する態度の形成

どんな子どもをめざすのか

- ・次のステップに向かって、**勇気を持って一歩を踏み出せる**子ども
- ・**将来にわたり学び続ける意欲を持つ**子ども
- ・自らの生き方・働き方を考え、将来への夢や希望を持ち、それを**実現しようとする主体的・能動的（アクティブ）**な子ども

教師が意識すべきこと

- ・「**なぜ、学ぶのか**」「**なぜ働くのか**」の意義を意識させる
- ・**どんな力をどこでつけるのか**を意識させる
- ・今、各教科で学んでいることは、**将来にどうつながっていくのか**意識させる

学校が意識すべきこと

- ・**全体計画**の作成
- ・**年間計画**の作成
- ・地域や企業との**連携**
- ・校内組織と**推進体制**の整備

職員の共通理解

- ・育成したい**能力・態度**の設定
- ・発達段階に応じた**目標**の設定
- ・**教科横断的なカリキュラム**の設定

伊丹市におけるキャリア教育の取り組み

キャリア学習ノートの活用

平成28年3月、小学校6年生から中学校3年生を対象に、子どもたちに「自分自身につけたい力は何か」を考えさせ、生きるために必要な力を身につけさせるため、『**キャリア学習ノート**』を作成しました。子どもたちの将来に必要な「**基礎的・汎用的能力**」を、具体的に示していますので、積極的に活用ください。



人間関係形成・社会形成能力

- 1 つながる**
 - ・協力する
 - ・ルールを守る
 - ・相手の意見をていねいに聞く
 - ・自分の意見をわかりやすく伝える

課題対応能力

- 3 課題に挑戦する**
 - ・最後まであきらめない
 - ・課題を発見する
 - ・課題を解決するための工夫をする

自己理解・自己管理能力

- 2 自分を見つめる**
 - ・前向きな気持ちを持つ
 - ・自分をコントロールする
 - ・自分の得意なことや苦手なことを知る
 - ・自分から行動する

キャリアプランニング能力

- 4 進路を選択する**
 - ・自分の成長を見つめる
 - ・自分の未来を考える
 - ・自分の目標に向かって何をするか考える

体験活動の充実

- ・「トライやる・ウィーク」
- ・社会見学
- ・自然学校
- ・環境体験活動
- ・生徒会
- ・児童会 等



学校間の連携や研修会の実施

- ・中学校ブロック1地域をモデル地域とした推進事業
- ・キャリア教育研修会



カリセンは教職員の自主研修を支えます!

授業力向上（カリキュラム）支援センター（通称：カリセン）では、「コンサルティング機能」「ワーキングスペースの提供」「コンテンツの提供」の3つの機能を通して、教職員の自主的・主体的な研究活動の支援や、授業・保育にすぐに役立つような個別のニーズに応じたサポートを行っています。

コンサルティング機能でサポートします！

- 経験豊富なコンサルタントが常駐して、教職員の様々な悩みに対応いたします。
- 「カリセンミニ講座」「臨時講師等対象セミナー」など指導主事・コンサルタントがファシリテーターとなり夜間の講座を開催しています。

ワーキングスペースの提供でサポートします！



大判カラープリンタ

- 様々な人数、用途に対応できるスペースを用意しています。
- パソコンなど研修に必要な機器を貸し出します。
- プリンタ、コピー機なども使えます。
- B0サイズ（模造紙大）まで印刷できる大判カラープリンタ、一度に100枚までコピー可能なDVD複製機（CDも対応）があります。
- 平日夜21時まで、土曜日は9時から17時まで開いています。

コンテンツの充実でサポートします！

- 図書や雑誌が充実。貸し出しもできます。
- 学習指導案が各学年・教科毎に整理されています。
- 各教科の指導で使えるDVD教材を充実させていきます。



【コンサルタントからのお誘い】



『生涯にわたって自己形成し続けていく専門職としての教師』をめざして一生懸命の今、「子どもの瞳が輝く授業がしたい」と悩む日々、解決に向けて一緒に考えませんか？教師として生きるための技を話し合いませんか？一人ひとりのケースに寄り添い支援します。

山田 恵子 コンサルタント【月・火・水】

学校はいつも「忙しい」「慌ただしい」ものです。「忙」は「心」を「亡」くす、「慌」は「心」が「荒」れると書きます。先生方が元気で、笑顔で、生き生きと活躍されることを願ってお手伝いします。お気軽に、カリセンに足をお運びください。



岡本 光子 コンサルタント【木・金・土】

発行 伊丹市立総合教育センター
月～金 9:00～21:00 所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番 TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482
土 9:00～17:00
休館日 日曜・祝日、年末・年始 総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>